

令和3年度事業報告 旧小澤家住宅

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

33,991,759 円

1 文化事業 1,434,423 円

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 818,452 円

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

開館 10 周年を記念した企画展や旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

①桜井進一氏写真展「新潟むかし：西堀」展

桜井進一氏が撮影した西堀の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧した。

開催期間 令和3年4月10日（土）～7月11日（日）

観覧者数 2,122 人（有料観覧者 1,771 人、無料観覧者 351 人）

②ミニ展示「端午の節句飾り」展

小澤家に伝わる兜や、收藏する五月人形などを展示した。

開催期間 令和3年4月10日（土）～5月16日（日）

観覧者数 793 人（有料観覧者 714 人、無料観覧者 79 人）

③「北前船のおくりもの展—新潟に招来した古伊万里—」

新潟県内に伝わった草創期・早期の古伊万里を軸に、江戸時代後期までのさまざまな古伊万里を展示した。

開催期間 令和3年6月13日（土）～7月11日（日）

観覧者数 792 人（有料観覧者 605 人、無料観覧者 187 人）

共催：新潟ハイカラ文庫

④「みんなの問題・海のごみ」展

一般社団法人 J E A N 所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示した。

市内でビーチコーミングをされている方からお借りした、新潟の浜で拾える漂着物の展示も行った。

開催期間 令和3年7月17日(土)～8月1日(日)
観覧者数 318人(有料観覧者268人、無料観覧者50人)
協力：一般社団法人JEAN

⑤ 開館10周年記念「小澤家と北前船」展

開館10周年記念展として、北前船経営に関する小澤家の経営資料をはじめ、船道具や新潟港から移出した主力商品であった焼酎(焼酎徳利)等を展示した。

開催期間 令和3年7月22日(木)～8月29日(日)
観覧者数 579人(有料観覧者504人、無料観覧者75人)
共催：新潟ハイカラ文庫

⑥ 「着物—新潟花街の華の衣装—」展

昭和期の新潟の花街の芸妓が袖を通した華やかな着物を展示した。

開催期間 令和3年9月17日(金)～10月3日(日)
観覧者数 664人(有料観覧者598人、無料観覧者66人)
協力：着物洛松

⑦ 「新潟仏壇工芸」展

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示した。また、県内の手漉き和紙職人による組合「越後生紙振興組合」と共催し、県内の各所に伝わる様々な和紙制作技法を紹介した。

開催期間 令和3年10月16日(土)～11月7日(日)
観覧者数 1,167人(有料観覧者655人、無料観覧者512人)
共催：新潟仏壇組合

⑧ 郵便制度150年記念「時代と共に生きる切手の世界」展

郵便制度150年にあわせて、新潟の郵便制度や切手の魅力について展示紹介した。

開催期間 令和3年11月13日(土)～12月12日(日)
観覧者数 1,315人(有料観覧者1,163人、無料観覧者152人)
共催：新潟郵趣会・新潟ハイカラ文庫
協力：日本郵便株式会社新潟支部会

⑨ 「すごろく」展

お正月にあわせて、明治・大正のすごろくを展示した。

開催期間 令和3年12月18日(土)～令和4年1月16日(日)
観覧者数 279人(有料観覧者233人、無料観覧者46人)
協力：新潟郵趣会・新潟ハイカラ文庫

⑩ 「ひな人形とからくり人形」展

当館及び新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛やからくり人形を展示した。

開催期間 令和4年2月19日(土)～3月21日(月)
観覧者数 793人(有料観覧者697人、無料観覧者96人)

共催：新潟ハイカラ文庫

※11月13日～1月16日に予定していた開館10周年記念「小澤家の婚礼料理」展は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

(2) 教育普及事業 90,460円

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

① にじいろカフェ・・・6月18日（金）

新潟シティガイドの勉強会を開催した。

② 庭園講習会・・・6月27日（日）

夏場の庭木の手入れについて、当館庭師による講習会を実施した。

③ 古文書講座初級編・・・6月8日（火）・9日（水）・15日（火）・16日（水）・22日（火）
23日（水）・7月13日（火）・14日（水）・20日（火）・21日（水）
8月3日（火）・4日（水）

④ 古文書講座入門編・・・10月5日（火）・6日（水）・12日（火）・13日（水）
19日（火）・20日（水）

本井晴信氏を講師に迎え、古文書の初心者向け講座・入門講座を実施した。参加者の要望に応え、補講も追加実施した。

⑤ 新潟仏壇工芸ワークショップ・・・10月17日（日）・24日（日）・31日（日）
11月3日（水）

「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展の関連企画として、伝統工芸士による蒔絵実演、職人指導によるワークショップ（金具打ち・蒔絵塗）を開催した。

⑥ クリスマスのミニアレンジ作り・・・12月4日（土）

クリスマスに飾れるミニアレンジメントの教室を開いた。

⑦ 稲穂で作る正月飾り・・・12月5日（日）

稲穂などの自然の素材を使った正月飾り作りの教室を開催した。

⑧ 講演会「郵便制度と年賀状」・・・12月11日（土）

「時代と共に生きる切手の世界」展にあわせて、佐々木雄二氏を講師に「郵便制度と年賀状」を題目に講演会を実施した。

⑨ お正月の苔玉作り・・・12月12日（日）

お正月飾り用の苔玉の製作教室を開いた。

⑩ フラワーアレンジメントワンディレクション・・・3月12日（土）

フラワーアレンジメントの展示にあわせて、体験教室を開いた。

⑪ ふろしき講座・・・3月21日（月・祝）

ふろしきの活用講座を実施した。

⑫ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドに館内の案内をお願いした。

※7月に予定していた「新潟甚句・佐渡おけさ講習会」と宿泊体験、2月20日に予定していた「稲わらでつくるひな人形」、3月6日に予定していた「からくり人形の実演」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

(3) 施設普及事業 383,211円

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、お月見やお正月など時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 応接セットの展示・・・4月21日（水）～6月2日（水）

藤の間に応接セットを展示し、応接間として使われていた往事の姿を再現した。

② 山野草の展示・・・5月14日（金）～22日（土）

旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

協力・花や木下

③ 蛙まつり・・・6月5日（土）～6月30日（日）

6月6日の「かえるの日」と梅雨にあわせて、職員ら有志が持ち寄った蛙をモチーフにした置物、ぬいぐるみ、手拭いや絵本などを展示し、かえるクッキーや、福祉事業所で作成した「かえるちゃん」ポーチの販売も行った。

④ 夏至祭ミニ・・・6月20日（日）

夏の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて飲食の提供や物販、唄と三味線と踊りのライブを行った。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年に引き続き今回も1日限りのミニ版に変更して開催した。

共催・Bar Book Box

⑤ おやつの日（7月）・・・7月18日（日）

町のにぎわいを絶やさないとを目的に、市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。こはく会による、唄と三味線と踊りのライブも開催した。

⑥ きのかまつり・・・10月6日（水）～14日（木）

10月10日の「きのこの日」にあわせて、旧小澤家住宅や新潟市内に生えたきのこの写真パネルを展示した。

⑦ 文化の日 無料公開・・・11月3日（水・祝）

文化の日にちなみ、新潟市内の文化施設とともに入館料を無料とした。

⑧ 秋のミニ文化祭・・・11月23日（月・祝）

秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、飲食の提供や物販、唄と三味線と踊りのライブを行った。感染症の拡大防止に配慮して、例年の文化祭よりも規模を小さくし、「ミニ文化祭」として開催した。

⑨ 年忘れ煎茶会・・・12月19日（日）

煎茶道東阿部流による年末の煎茶会を開催した。

⑩ ねこまつり・・・1月26日（水）～2月6日（日）

寅年に合わせて、猫に関する展示や物販を行った。

⑪ 市民企画フラワーアレンジメント「花で彩る」・・・2月26日（土）～3月6日（日）

通り土間にひな祭りに合わせたフラワーアレンジメントを展示した。

⑫ ふろしき展示

通り土間に、イベントや季節にあわせたふろしき包みを展示した。

⑬ ミニ展示

通り土間や茶の間に、氷コップや豆ランプ、ステンドグラスや人形などを展示した。

※5月に予定していた「藤見煎茶会」ほか飲食に関するイベント、および2月23日に予定していた「箏と尺八の演奏会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

(4) 調査研究事業 3,850 円

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に、賛助会員として参加した。

(5) 収蔵資料保存管理事業 138,450 円

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業 32,557,336 円

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和3年度 旧小澤家住宅入館者数

10,896 人（対前年度比 94.4%）

新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いている。

○ 旧小澤家住宅の 付帯事業 50,471 円

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、書籍などを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

当館はオリジナル商品として、箸置き、つま楊枝、手ぬぐい、トートバッグ、Tシャツ、マグカップなどの開発・販売にも力を入れ、開館10周年である令和3年度はオリジナルの「小澤家珈琲」ドリップパックを販売した。